

この「広報ひこね」は48,000部作成し、1部当たりの単価は7円(1円未満切り捨て)です。ただし、原稿作成・編集などにかかる職員の人件費は含まれていません。

松原下屋敷(お浜御殿)庭園を特別公開します

現在、整備の途中ですが、松原下屋敷の現状を期間限定で特別に公開します。新緑の名勝庭園をご堪能ください。

公開期間 4月20日(月)～5月24日(日)
※期間中は毎日公開しています。

公開時間 午前9時～午後5時
料金 無料

その他 秋の紅葉の時期にも特別公開を計画しています。また、「文化財課の「文化財探索ウォーク」

では、玄宮楽々園などとともに見学会を予定しています。また、事前に申し込んでいただいた団体には、ご案内もします。

問い合わせ先 市教育委員会文化財課 ☎26-50303番、FAX26-50606番、Eメール: bunkazai@mx.hikone.ed.jp

松原下屋敷(お浜御殿)とは

松原下屋敷(お浜御殿)は、11代当主井伊直中により文化7年(1810)ごろに琵琶湖畔に造営された下屋敷です。彦根藩のもう一つの立地である榎御殿(玄宮楽々園)とは立地や趣も異なり、公式性を離れた内向きの、庭園を主体とした下屋敷でした。

松原下屋敷の庭園は、優れた造園技術を駆使し、琵琶湖の水や山の自然をいかして造られています。琵琶湖の水位と連動して汀線(波打ちぎわ)が変化する汐入形式の手法を用いた池を中心に、西側は洲浜の広がる穏やかな景観とし、東側は築山(庭に築いた小さな山)が折り重なる深遠な趣となっております。13代当主井伊直弼の時代には、「がけの御茶屋」「南台の御茶屋」「通天御茶屋」「菊の御茶屋」の4棟の茶室も設けられていたようですが、現存していません。

明治4年の廃藩置県後、彦根における井伊家の居宅はこの屋敷が用いられ、明治22年には玄関棟や大広間棟が増設されました。庭園については、昭和57年度に奈良国立文化財研究所(現在の奈良文化財研究所)により調査が実施され、市教育委員会でも平成12年度に庭園や歴史的建造物の調査、植生調査、そして測量調査などを行いました。これらの調査により、松原下屋敷の庭園が玄宮楽々園とは様相の異なる大名庭園であり、近世の大名文化を理解する上で欠くことのできない貴重な文化財であることが明らかになりました。

そこで平成12年度には彦根市指定文化財(名勝)に指定し、さらに翌平成13年度には国の名勝指定を受けました。また、平成14年度からは彦根市が管理団体となり庭園の維持管理を図るとともに、公有地化に努めています。

今後、公有地化にめどが立つた段階で、国の補助と指導を得ながら、庭園や歴史的建造物の保存修理を実施し、公開していく予定です。松原下屋敷は、彦根市民の大切な宝であり、また新たな観光資源としても期待されます。

※汐入形式 海水の干満を利用して池の景色を変える庭園技法。汐入式の池をもつ旧大名庭園としては、浜離宮恩賜庭園(東京都)や養翠園(和歌山県)などが知られています。松原下屋敷の庭園は淡水(琵琶湖の水)を利用した汐入形式の手法を用いた、わが国唯一の庭園です。



▲松原下屋敷の古写真

ふるさとの 確かな未来へ この一票

問い合わせ先 市選挙管理委員会事務局
☎30-6131 FAX23-4551

彦根市長選挙

4月26日(日) 7:00~20:00

投票日当日、仕事や旅行、レジャー、冠婚葬祭などで投票所へ行けない人は、期日前投票をご利用ください。

期日前投票

場所 市選挙管理委員会(市役所4階)、稲枝支所
期間 4月20日(月)～4月25日(土) 8:30～20:00
(稲枝支所については、8:30～17:00)

投開票速報 投票日当日、投・開票速報をします。

彦根市ホームページ <http://www.city.hikone.shiga.jp/>
i-モード <http://www.city.hikone.shiga.jp/im/>
ソフトバンク <http://www.city.hikone.shiga.jp/js/>
EZweb <http://www.city.hikone.shiga.jp/ez/index.html>